

# NEWS

NO.224 1999. 7. 1



Jazz Piano  
山下洋輔

©1994 Jimmy Katz/Giant Steps

海外 5

ピアノと和太鼓による  
**ジャズ公演**  
7/1 マレーシア  
7/6~8 タイ



和太鼓  
林英哲

出版 2

## 最新刊のご案内

「国際交流」「日本語教育論集」  
「アジアセンターニュース」ほか

国内 4

'99国際児童青少年演劇アジア大会

## 子どもリンク21

全国13都道県で9カ国16の劇団が公演

海外 7

エジプト

## トール日本文化週間

映画上映会、展示会等を実施

その他の予定

国際会議	8
人物の交流 派遣	9
人物の交流 招へい	11
日本語・日本研究	14
芸術交流 展示	16
芸術交流 公演	17
映像交流	17

詳細については各ページをご参照の上、担当部署へお問い合わせください。

送付先の変更については総務部総務課へご連絡ください(TEL.03-5562-3511, FAX.03-5562-3494)。

「国際交流基金NEWS」は当基金のホームページ(<http://www.jpf.go.jp/>)でもご覧になれます。

# 国際交流 第84号

特集 ひらかれた日本語



メディア事業部編集課  
03-5562-3532

季刊『国際交流』は、国際文化交流に関心のある読者を対象に発行している和文機関誌で、毎号一つのテーマに基づいて特集記事(論文、エッセイ、座談会など)を組むほか、当基金の活動記事などを掲載しています。

本号では、国際交流基金日本語センター開設10周年を記念して、日本語についての再考を行うために日本語の特集を組んでいます。当基金の重要業務の一つである「日本語」を新しい観点からとらえ、今後の日本語・日本語教育を予測・検証する内容となっています。

4つの自由化 「日本語新時代」を迎えて / 加藤秀俊

対談 50年先の日本語のために / 梅棹忠夫 水谷修

- 日本語改革の思想史 / 野元菊雄
- 外国人に学ぶ日本語のありかた / 多田道太郎
- わたしの京ことば / 中村弘子
- 私のことばはどこから来たか / 如月小春
- 公用文から見た日本語 / 加藤彰彦
- 日本語は一つではない / 高田宏
- 外国語になった日本語 / 熊倉功夫
- 漢字をつかわない日本語へ
- 日本語の正書法再論 / 野村雅昭
- 日本語へのさまざまな道
- 放送教育、そして香港の語学学校 / 疋田正博
- 文字をつかわない日本語の世界
- 「はなされる日本語」をかんがえる / 高田公理
- 日本語国際センター研修生座談会など

「国際交流」の販売は第一法規出版(株)が行っています(定価800円)。ご希望の方は、最寄りの書店または第一法規出版(株)にお申し込みください。  
第一法規出版(株) TEL. 03-3796-5455 (代)

「シリーズ国際交流」

「国際交流」の下記の特集記事が単行本として刊行されました。最寄りの書店でお求めください。

1. 「『鎖国』を見直す」(第59号) ¥1,995
2. 「日本人と多文化主義」(第63号) ¥1,995
3. 「東アジア世界の地域ネットワーク」(第62号「東アジアという地域世界」改題) ¥1,890

お問合わせ先  
(財)国際文化交流推進協会 03-5562-4422  
(株)山川出版社 03-3293-8131

国際交流に関する論文や研究報告、情報提供を目的とした様々な定期刊行物を発行しております。その中から、近刊をご紹介します。

# 世界の日本語教育 第9号



日本語国際センター情報交流課  
048-834-1184

日本語教育論集『世界の日本語教育』は、世界各国から投稿された中から審査によって選ばれた論文を収める、日本語教育・日本語研究に関する学術論文集です。

今回発行する第9号には、世界13カ国・地域から64編の応募があり、その中から選ばれた14編の論文を掲載します。

<掲載論文>

- ・文法項目の段階的シラバス - 受身の場合 -  
小川誉子美・安藤節子
- ・海外における日本語教育活動に参加する日本人協力者  
- その問題点と教師の役割 -  
トムソン木下千尋・舛見蘇弘美
- ・ピア・レスポンスが可能にすること - 中級学習者の場合 -  
池田 玲子
- ・言語習得に影響を与えた社会的要因  
デビッド・チャップマン、バーバラ・ハートリ
- ・オーストラリアの大学におけるニーズ分析 / 若林 秀明
- ・外国語としての日本語習得における母国語からの漢字知識の転移 / 松永 幸子
- ・学習者の自発的な発話を導く教師の学習支援的言動  
- 積極的な自発的発話の場合 - / 野原 美和子
- ・日本語と韓国語の受身文の実証的対照研究  
: 両国のテレビドラマと新聞コラムにおける受身文の使用率の分析 / 許 明子
- ・近代日・韓両言語における受身表現の変遷  
- 小説を中心に - / ユン ホ スク
- ・文脈からみた「が」と「は」 / 永井 麻生子
- ・接続助詞「~ながら」について - 「~ても」と比較して -  
陳 芬慧
- ・「~なか」と「~うち」について / 大島 弘子
- ・上級日本語学習者のあいづち - その質と量 - / 向井 千春
- ・日本語母語話者の雑談における「物語の開始」  
- 発話順番のやり取りとの関係を中心に - / 李 麗燕

写真は第8号

本論集は国内外の主要な日本語教育機関に寄贈されるほか、個人でも入手可能なよう市販されています(定価2,200円)。市販についての問い合わせ先  
(株)凡人社 TEL. 03-3263-3959 FAX. 03-3263-3116

アジアセンターニュース  
1999 NO.12



アジアセンター知的交流課  
03-5562-3891

「アジアセンターニュース」は、国内におけるアジア理解の促進とアジアセンター事業の紹介を目的とした和文機関誌で、年3回発行しています。アジアの文化状況に関する情報を様々な角度から紹介しており、アジア各地の当基金事務所からの生きた情報もお届けしています。

日本・ASEAN文化対話フォーラム  
個人の記憶と国家の物語の間(はざま)で  
マリア・ジョクノ×藤原 帰一  
×ダイアナ・ウォン

アジア理解講座

ベトナム・フエの文化遺産の修復から  
学んだこと  
重枝 豊

開高健記念アジア作家講演会

暴力がある限り 小説家の闘い  
セノ・グミラ・アジダルマ×松野 明久  
クララ レイプされた女性の物語  
セノ・グミラ・アジダルマ  
日本語で読めるインドネシア文学  
森山 幹弘

1930年代上海映画特集

上海が生んだ伝説の女優、阮玲玉  
晏 妮  
阮玲玉が死んだ年 1935年  
石子 順

「リア」東南アジア・豪州公演  
アジアのメディアが見た「リア」

助成事業報告

こどもたちの影絵劇団が行く  
ルック・イニエスタ  
絵本が育むカンボジア人の夢  
古閑 由佳里

ニューデリー事務所便り

ネパール人自身による開発のために  
カナク・マニ・デッキシット  
インド「国民統合」の使者、クリケット  
鷲尾 礼弁

インフォメーション

大学、図書館、文化団体、マスコミなどに送付しておりますが、創刊号からアジアセンターライブラリー(赤坂ツインタワー1階)で閲覧することができます。

英文書誌情報誌  
Japanese Book News  
No.26



メディア事業部図書課  
03-5562-3533

「Japanese Book News」は、日本の出版動向と新刊情報を英文で提供する季刊誌です。海外における情報不足を改善し、日本の図書の翻訳出版を促進することをめざしています。

エッセイ

- ・Ambivalence and Identity in Okinawan Literature  
(日本への吸引と反発 沖縄文学の個性) 与那原 恵 (フリーライター)
- ・Rojinryoku: Embracing the Strength of Age  
(遊び心で前向きな「老人力」ブーム) 吉野 仁 (文芸評論家)

出版コラム

- ・The Revivalist Style of Young Fiction Writers (新人作家たちの復古的文体) 小山 鉄郎 (共同通信社文芸部記者)
- ・The Healing Message of "Freddie the Leaf" (「葉っぱのフレディ」のメッセージ) 井狩 春男 (エッセイスト)

海外レポート

- ・Japanese Books in Korea Today (韓国における日本の本の最新出版事情) 金 泰翼 (朝鮮日報記者)

新刊図書紹介

- 西江雅之『ヒトカサルかと問われても』(読売新聞社 1998年)
- 高橋秀実『素晴らしきラジオ体操』(小学館 1998年)
- 菅直人『大臣』(岩波書店 1998年)
- 柳美里『ゴールドラッシュ』(新潮社 1998年)
- 西川祐子『借家と持ち家の文学史』(三省堂 1998年)
- など、36点を掲載

Events & Trends

「グリム童話ブーム」他、出版界の最新のニュース

作家紹介シリーズ

- 池澤 夏樹 (作家)
- ・(Mis)Translation and What I Write (自分の書くものと外国語訳の関係について)

海外の出版関係者、翻訳家等に無料で配布しております。ご関心のある方は当課までご連絡ください。

THE JAPAN FOUNDATION  
NEWSLETTER  
VOL. XXVI/NO.5-6



メディア事業部編集課  
03-5562-3532

「The Japan Foundation Newsletter」は国内外の日本研究者や日本に関心をお持ちの方々に対して、当基金の活動状況の報告とあわせ、日本研究や日本に関する情報の提供を行っている、英文の季刊誌です。本号の特集テーマは「将棋」です。

MAIN ARTICLES

- The History of Shogi  
将棋の歴史  
木村義徳 (将棋博物館館長、将棋八段)
- The Beauty of Shogi  
将棋の中に見られる日本人の美意識  
大崎喜生 (「将棋世界」編集長)
- The Appeal of Shogi  
将棋の醍醐味  
ゲームとしての将棋のおもしろさ  
松本治人 (日本経済新聞将棋担当記者)

CULTURAL HIGHLIGHTS

日本文化に関する新聞記事の抜粋

RESEARCH REPORTS

- Architectural Conservation in Japan: Authenticity and Unity  
日本の伝統木材建築の保存修復  
Qinghua Guo (メルボルン大学講師)
- Mothers and Group Day Care for Children in Japan and South Korea  
日本・韓国における保育と子供の発達  
Lee Woo Joo  
(釜山大学保育総合センター研究員)

BOOK REVIEWS

- "The Bridegroom Was a Dog"  
by Yoko Tawada  
(Kodansha International, 1998)  
Teodore Goossen (ヨーク大学準教授)

AFTERWORD

- The Growing Popularity of Shogi Overseas  
将棋の海外普及について  
青野照市 (将棋九段)

国際文化交流や日本研究に関心のある方や機関に無料で配布しております。定期的な送付をご希望の方は当課までご連絡ください。



# 子どもリンク21 『99 国際児童青少年演劇アジア大会



「コーカサスの白墨の輪」PETA（フィリピン、マニラ）

アジア・パシフィック地域の優れた児童・青少年演劇団が一同に集う「99 国際児童青少年演劇アジア大会」が7月19日から8月8日にかけて開催されます。大会には中国、韓国、フィリピン、シンガポール、ベトナム、オーストラリア、カナダ、米国、日本の計9カ国16の劇団が集い、全国13都道県で公演を行います。また、単独の公演だけでなく日中、日韓の合同公演も予定されています。

その他、河合隼雄氏による記念講演「新しい世紀を生きる子どもたちに…」(7月26日 13:00-15:00 国際交流フォーラム/東京・赤坂)や、国際会議「21世紀におけるアジアの児童青少年演劇の新しいアイデンティティを求めて」等も開催されます。

詳細についてのお問い合わせ

アジア大会全国本部

〒180-0012

東京都武蔵野市緑町2-1-5(株)劇団影ぼうし内

TEL:0422-51-7066

FAX:0422-51-7063

演目 劇団名/開催地

「狼をやっつけろ」北京市児童芸術劇団(中国)/東京、福井、奈良

「どうぶつ村は大騒ぎ」中国福利会児童芸術劇院(中国)/東京、宮城、北海道

「友だちを探せ」明日劇団(中国・香港)/沖縄、滋賀、東京

「アリとキリギリス&蜂」劇団ミンドルレ(韓国)/沖縄、山口、徳島、東京、新潟

「ハムレット」劇団ヨンヒダンコリベ(韓国)/東京、福島、滋賀、広島、高知

「コーカサスの白墨の輪」PETA(フィリピン演劇教育協会)(フィリピン)/沖縄、山口、東京、福島

「こんにちはAct3」Act3(シンガポール)/新潟、東京、宮城、北海道

「虫たちの冒険」ベトナム青少年劇場(ベトナム)/宮城、福島、東京、福井

「パニヤップ/お尻どろぼう」スベア・パーツ・パペット・シアター(オーストラリア)/東京、神奈川、福井、山口、鳥取、高知

「約束の地」レ・デュ・モンド(カナダ)/東京、福井、鳥取

「スタッフ」メトロ・シアター・カンパニー(アメリカ)/東京、愛知、鳥取

「日中合作大型人形劇『三国志』」劇団影法師(日本)中国成都人形芸術劇団(中国)合同公演/東京、奈良、高知、徳島

「ロビンソンとクルーソー」劇団うりんこ(日本)カマコルファミリー劇場(韓国)合同公演/山口、福岡、岡山、東京、福井、愛知、鳥取

「ミュージカル『ザ・ヒーローズ』」日本児童・青少年演劇劇団協議会合同公演(日本)/新潟、滋賀、鳥取、岡山、奈良、北海道

# 影絵芝居 スバエク・トイ 日本公演



カンボジアの伝統影絵芝居が戦災孤児たちの手によりよみがえりました——。カンボジアのアンコール地方に古くから伝わる影絵芝居スバエク・トイ。人形の軽快な動きと音楽がくりひろげる庶民的な物語は、広く人々に愛されてきました。長く続いた内戦により滅びかけたこの芸能をよみがえらせたのは、戦災で孤児となった子どもたちです。シェムリアップにあるCDCAPK(クメール民俗文化教育センター)は、孤児たちを伝統文化の新たな担い手として育成することを通じ、彼らの心のケアをはかる社会的な活動をおこなっています。

世界的に注目されているこのユニークな活動が、初来日。日本各地で公演をおこないます。12歳から18歳の小さな芸術家たちが、影絵と歌と生演奏によりカンボジアの農村の暮らしをつづります。

日程	7月21日(水)	神奈川県・横浜市
	22日(木)	東京都・葛飾区
	24日(土)	福岡県・福岡市
	25日(日)	福岡県・太宰府市
	29日(木)	広島県・呉市
	30日(金)	大阪府・貝塚市
	31日(土)	大阪府・(未定)
	8月1日(日)	愛知県・名古屋市
	4日(水)	長野県・飯田市
	5日(木)	長野県・飯田市
	6日(金)	長野県・飯田市
	8日(日)	茨城県・日立市
	10日(火)	東京都・渋谷区



お問い合わせ  
(財)現代人形劇センター  
TEL. 044-777-2228



# 山下洋輔 & 林英哲ジャズ公演

世界的ジャズ・ピアニストの山下洋輔氏と和太鼓奏者の林英哲氏のデュエットによるジャズ・コンサートがマレーシアとタイで開催されます。

山下洋輔氏のパーカッシブなピアノ演奏に林英哲氏の力強い和太鼓の響きが調和したユニークな構成と音楽は、現地のジャズ・ファンに鮮烈な印象を与えることでしょう。

特にタイでは、国王自らジャズ・サクスを演奏されることから、高い話題性を持って受け入れられるものと期待されています。



人物交流部派遣課

03-5562-3521



©Jimmy Katz/Giant Steps



7月1日 **クアラルンプール**  
(PWTC ワールド・トレード・センター)  
ジャパン・フェスティバルのオープニング・イベント

7月 **バンコック**  
(タイ文化センター)  
6、7、8日 プーミボン国王 72 歳慶祝記念行事の一環

## 山下洋輔(やました ようすけ)

© Jimmy Katz  
Giant Steps



東京都出身。'69年に「山下洋輔トリオ」を結成し、フリーフォームのエネルギッシュな演奏で国内外で高い評価を得る。'83年からはソロで活動し、オーケストラや和太鼓など様々なジャンルの音楽との共演を行う。'88年に「ニューヨーク・トリオ」を結成。以降、ソロ活動や他のミュージシャンを加えたグループでの活動も含め、アフリカ、南米、欧州などにも活動の場を広げ、'97年8月には韓国でもツアーを行う。'96年からは洗足学園短期大学のジャズコースの客員教授、代表を務め、後進の指導にあたっている。'98年、映画「カンゾー先生」のサウンドトラックで「毎日映画コンクール」、「日本アカデミー賞」の音楽賞を受賞。

## 林 英哲(はやし えいてつ)



広島県出身。和太鼓の演奏グループ「佐渡・鬼太鼓座」「鼓童」の創立以来11年間、トッププレイヤーとして活動後、'82年に独立。和太鼓ソロという分野を開拓し、ソロ演奏のみならず、ジャズや民俗音楽、舞踏、美術などジャンルを超えた共演を通じて多彩な演奏活動を国内外で展開する。近年では国内各地でのイベントプロデュース、映画、演劇、CM、創作太鼓のための作曲・指導も手がけている。'98年にモスクワ・チャイコフスキーコンサートホールで日本の太鼓奏者としては初めてソロコンサートを行う。今秋以降も、ヨーロッパをはじめとする海外ツアーに続き、国内コンサートツアーが予定されている。'97年、第47回芸術選奨文部大臣賞(大衆芸能部門)を受賞。

映画制作助成

## "井上孝治 表徴を越えた写真" ブリジット・ルメーヌ監督(フランス)

ろう者である日本人カメラマン、井上孝治(1919~1993年)の作品と生涯をテーマにしたドキュメンタリーです。井上氏は、3歳の時、事故のため聴覚を失いますが、中学の卒業祝いで贈られたカメラに魅了され、戦後、カメラマンとして活躍するとともに、同じろうの仲間達の地位の向上に奔走しました。イントロダクションとそれに続く6章(待機、幼少期、道、肖像、作品、ユーモア)により、井上氏の視線を通して、日本、家族そして仲間達を描きます。

### ブリジット・ルメーヌ監督

ろう者の祖父母に育てられたことから、自らの母語は「手話」と言います。障害者や児童虐待などを扱うドキュメンタリー映画を数多く制作。特に「耳の聞こえない人の文化」「視覚的知性」を伝えることをテーマとしています。93年アルル国際写真会議(フランス)で出会った井上氏の写真に感銘を受け、同氏をテーマに短編映画を完成させました。その後、世界にこのろう芸術家を紹介することを目的とし、長編の本作品の制作にとりかかりました。

### 映画制作の助成

日本と諸外国との相互理解を促進する事業のひとつとして、「日本」に関するテーマで制作される優良な映画やテレビ番組の制作に対する助成を行っています。



井上孝治氏と二人の愛息

上映/放映予定:

【日本語版】

上映会 東京・京都・福岡・沖縄

山形ドキュメンタリー国際映画祭出品予定

【仏語版】

上映会 国際交流基金パリ日本文化センター  
(99.10.2)



メディア事業部視聴覚課

03-5562-3535

## 国際交流フォーラム

# Imagina CG映像フェスティバル'99

Imagina はフランス国立オーディオビジュアル研究所(INA)の研究者たちによって発足した研究発表会で、毎年モナコおよびパリで開催され、現在では作品コンテストや展示会など、ヨーロッパ最大のCG祭典として知られています。今回はImagina 99 コンテストの受賞作品および学生応募作品の上映会や、若手クリエイターによるヨーロッパでのCG・映像業界事情などに関するワークショップを行います。(事前の予約が必要です)

7月16日(金) 13:00 ~ 20:00

入場料: 一般 4,000円 学生 2,000円 (ともに消費税込み)

主催: フランス大使館、フランス国立オーディオビジュアル研究所

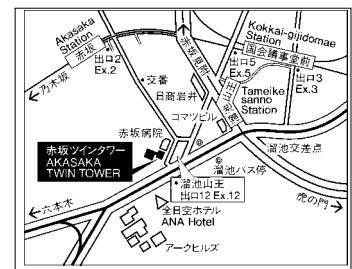
お問い合わせ: <http://www.wgn.co.jp/imagina/> をご覧ください

Imagina 上映会事務局

FAX 048-476-9919 e-mail hito@aurora.dti.ne.jp

お問い合わせはFAXまたはe-mailでお願いいたします。

定員になり次第、締め切らせていただきますので、  
予めご了承ください。



国際交流フォーラム

東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー1階



国際交流フォーラム事務局 03-5562-3892

当基金が運営する「国際交流フォーラム」(港区赤坂)は、国際交流基金の主催事業のみならずほかの文化交流団体の公演、展示、上映会、シンポジウムなどにもご利用いただいております。国際交流フォーラムのご利用方法の詳細については(財)国際文化交流推進協会(エスジャパン内)国際交流フォーラム係(03-5562-0699)までお問い合わせ下さい。

海外の地方都市における日本文化紹介事業

# トゥール日本文化週間

(エジプト・カイロ事務所)

7月27～31日

エジプト 南シナイ県トゥール市

協力：南シナイ県トゥール文化パレス

カイロから約500キロ離れたスエズ湾沿いの都市、トゥール市において日本文化週間を実施します。南シナイ県の県庁所在地である同市は、6世紀から12世紀にかけてペルシャ湾や東アフリカ沿岸地域への中継貿易の拠点として重要な役割を果たした港湾都市です。中近東文化センターが1985年以来この都市遺跡の発掘調査を行っています。

エジプトにおける地方都市での日本文化週間はカルーガオアシス、ハルガダに続き3カ所目ですが、これまでも会場に入りきれないほどの来場者を集めるなど大変な好評を博しています。今回は日本映画4本(アラビア語字幕)を上映する他、日本の生活文化を写した写真パネルや日本人形の展示等を行う予定です。



カルーガオアシス日本文化週間



総務部管理課  
03-5562-3513

国際交流セミナー

## 「京指物とその周辺」

講師：和田 伊三郎

(京木具・指物師、(有)江南 代表取締役  
前日本伝統工芸士会副会長)

「京木具・指物」は、国土の70%をしめる森林から産出される多くの木材のうちの、有用60種といわれる木材を用いています。また、優秀な刃物を作る鋼から作られる木工具等を駆使し加工する木工芸技術・技法は、古代より引継がれながら発達し、特に京都では永く王城の地として宮廷や貴族・社寺等の保護を受け、室町時代以後の茶道や香道等の興隆とともに、富裕な町人の遊芸にも支えられ、「稚なり」と「はんなり」という言葉に代表される、独自の意匠を持っています。

しかし、いくら優秀な技術や技法でも、正しく次代に継承され伝承させていくことなければ、将来的には衰退してしまいます。

そこで、木を組む・彫る・曲げる・操り抜く・削るといった、我が国特有の木工芸技術が危うくなりつつある現状と、今、何をしなければならぬかについて考えます。また、使用者の立場も考えた現代に生きる工芸としての道を模索しながら、作り手から使い手への流通、後継者育成などの問題についても話し合います。

7月30日(金)午後2時～4時

国際交流基金京都支部 講堂

京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル

安田火災海上京都ビル8階

用語：日本語 (日英逐次通訳付き)

日本劇画上映会

## 「関西が舞台」

関西在住の外国人を対象に、下記の劇映画(英語字幕付)を上映します。

京都支部講堂

午後2時から上映(入場無料)

7月7日 王将

伊藤 大輔 監督 1948年作 94分

7月14日 金閣寺

高林 陽一監督 1976年作 109分

7月21日 姉妹坂

大林 宣彦 監督 1986年作 102分

7月28日 近松物語

溝口 健二監督 1954年作 102分



京都支部 075-211-1312



# 国際会議

企画部企画課 03-5562-3537

## 日欧国際会議助成

特定の課題に関する日欧間の知的対話の促進を支援します。

会議名	主催者	開催地	期 間	内 容
第1回国際現代俳句シンポジウム	現代俳句協会	日本(東京)	'99. 7.11	伝統俳句の「季語」にこだわらない、素材やリズムに制約のない現代俳句についての世界初の国際シンポジウム。人類の精神の普遍性に基盤を持つ自由な現代俳句が、日本そして欧米でいかに未来へ向けて展開し、21世紀の人類の相互理解と文化の発展に貢献できるかを話し合う。
グローバル・フォーラム 日欧対話	グローバル・フォーラム	日本(東京)	'99. 7.15 - '99. 7.16	ルーマニア政治行政大学院 NSPSPA との共催で「中東欧におけるNATO・EU拡大の影響」をテーマに開催する。西欧中心となりがちな日欧対話に中東欧との対話の機会を設ける。
"The Rationalised Parliamentarism in the New Polish Constitution of 1997 and Universal Tendencies in the Modern Parliamentarism"	ポーランド立憲法協会	ポーランド (ワルシャワ)	'99. 7.19 - '99. 7.20	日本、ポーランド両国の法学者による憲法の観点から見た議会主義の比較を行う。
'99サマー・アート・スクール・シンポジウム	クリエイティブ・アート実行委員会	日本(東京)	'99. 7.24 - '99. 8. 8	昨年行ったシンポジウム「地域におけるアートの場づくり」を踏まえ、英国で30年余り展開されてきたコミュニティ・アートがどのように英国の人々、および社会に影響を与えたかを検証。そして現在の日本でどのようにアート活動が人々の意識を変え、社会を変革していくことができるのかを討議する。また、いくつかのアートプロジェクトの実例を通して、そのコンセプトと手法を紹介する。

企画部国際交流相談室 03-5562-3538

## 国際交流会議助成

市民の国際相互理解を目的として開催される国際会議を支援します。

会議名	主催者	開催地	期 間	内 容
第5回海外高校生による日本語スピーチコンテスト・異文化交流プログラム	日本語スピーチコンテスト実行委員会	日本(東京都)	'99. 7.23 - '99. 8. 4	世界各国の高校生と日本の高校生による異文化交流に関する会議。あわせて世界各国の高校生による日本語スピーチコンテストを開催。
国際YOUTHキャンプ ～自然環境を考える集い～	地球市民プラザ開催実行委員会	日本(山梨県)	'99. 7.26 - '99. 7.28	日本および海外の高校生・大学生・青年が参加し、環境問題についての討論を行う。
第12回ジャパン・テント (世界留学生交流・いしかわ'99)	ジャパン・テント開催委員会	日本(石川県)	'99. 7.29 - '99. 8. 5	日本で学ぶ外国人留学生、研修生を石川県に招き、シンポジウム等を通して、県民との友好親善をはかる。
国際シンポジウム 「自然と平和を守る子ども達を育むために」	(財)すぎのこ文化振興財団	韓国	'99. 7.31 - '99. 8. 6	「自然と平和を守る」をテーマに各国の子どもたち、児童教育の専門家、環境問題の専門家が集まり、会議およびシンポジウムを開催する。





# 人物の交流 派遣

人物交流部派遣課 03-5562-3521

氏名	所属機関等	派遣地	目的	期間
<b>国際会議出席者派遣(助成)事業</b>				
鳴海 邦碩	大阪大学工学部教授	ブラジル(ロンドリーナ)	景観の新しい見方というテーマで、旅行の増大、都市観光の増大、アメニティの定義および施策、景観における建築の役割、都市の多様性と魅力について語る。	'99. 7.29 '99. 8. 1
吉川 智教	横浜国立大学商学部教授	米国(ポートランド)	ポートランドで開催される工学技術管理のための国際会議に出席する。	'99. 7.25 '99. 7.29
<b>地域・草の根交流(欧州派遣(助成)事業)</b>				
梶原 真子 他4名	MARI 室内合奏団	イタリア(ローマ、アッシジ、ペルージャ)、ベルギー(ブリュッセル)	音大生、同卒業生など専門的に管弦楽を学んでいる若い音楽家によって編成された管弦楽団が、イタリア日本文化センターの招きに応じ「世界の子供の声」展で童謡など日本の歌曲を歌う。	'99. 7.19 '99. 7.30
小笠原 弦 他9名	リトルチェリーズ団長	ドイツ(アンスバッハ、ワイマール)	EU・ジャパンフェストで公式プログラム公演を行い、また、国際青少年音楽祭で世界37カ国の音楽団と共同公演を行う。	'99. 7.14 '99. 7.27
松井 やより 他4名	「戦争と女性への暴力」日本ネットワーク代表	セルビア(ベオグラード)、クロアチア(ザグレブ、パクラツ)	旧ユーゴ内戦で暴力などにより抑圧された女性をケアし、自立を支援している現地NGOと連帯するため「戦争と女性への暴力」に関するワークショップを開催する。また、ネットワーク形成、共同プロジェクトにつき協議する。	'99. 7.31 '99. 8. 7
都留 信也 他9名	日本ユーラシア協会理事長	ロシア(ノボシビルスク)	草の根交流の発展をテーマに日ロフォーラムを開催し、あわせて日本文化週間として、書道、茶道、日舞、空手、凧揚げ、邦楽、囲碁、児童画展、日本ポスター展、子供の遊び、着付教室を実施する。	'99. 7.21 '99. 7.28
富山 栄子 他4名	日露消費者保護問題研究会会長	ロシア(モスクワ、サンクト・ペテルブルグ)	消費者保護の伝統が浅いロシアにおいて、消費者連盟・団体との意見交換、デパート、スーパーマーケットの実態調査を行う。	'99. 7.25 '99. 8.20
<b>日本文化紹介派遣(助成)事業</b>				
猪俣 武 他4名	社団法人日本音楽家協会常務理事	インドネシア(デンパサール)	猪俣氏率いるJAZZグループと、インドネシアの民族音楽家スウェントラ氏率いる民族音楽集団「SUAR AGUNG」による音楽文化交流。	'99. 7.14 '99. 7.19
河島 英五 他2名	(有)スロートレイン所属歌手	モンゴル(ウランバートル)	河島英五&ハラング コンサートを実施	'99. 7.26 '99. 8. 4
山本 華子 他3名	帝京大学福祉・保育専門学校非常勤講師	韓国(ソウル)	日韓伝統舞踊シンポジウムに参加するとともに韓国舞踊学会との意見交換を行う。	'99. 7.26 '99. 8. 5
市川 芳雄 他5名	星川葎夫芸術教育研究舎代表	マレーシア(ペナン)	日本の盆踊りと津軽三味線の紹介	'99. 7.22 '99. 7.25
永島 忠彦 他6名	(社)観世九臈会理事	米国(モドルベリー)	大学の夏期日本語学校において、能・狂言および日本の伝統衣装についてのレクチャー・デモンストレーションおよびワークショップを行い、最終日に公演を行う。	'99. 7.13 '99. 7.27
菅野 敦司 他2名	(財)鼓童文化財団理事	米国(ロス・アンジェルス)	500名を超える参加者が予想される太鼓会議において、パネルディスカッション、ワークショップ、デモンストレーションを行う。	'99. 7.29 '99. 8. 3
ティール ヘレン リベッカ	国際能楽研究会事務局長	ブラジル(サンパウロ)	カトリック大学の新しい専攻科「コミュニケーションと身体芸術」の記念イベントにおいて、能楽の講演、能面等の写真パネルの展示およびワークショップを行う。	'99. 7. 7 '99. 7.30
田中 公道 他1名	大阪芸術大学芸術学部教授	ブラジル(サンパウロ、マリガン、ロンドリーナ、モジダスクルーゼス、リオデジャネイロ)	「田中公道テノールリサイタル」を現地ブラジル人ピアニストと数回行う他、現地ブラジル人ソプラノ歌手との「ジョイントリサイタル」、「日本の現代創作オペラ」講演、日本語で歌う創作オペラのアリア、声楽公開講座等、現地の人々を対象とした音楽会を行う。	'99. 7.14 '99. 8.14



# 人物の交流 派遣

人物交流部派遣課 03-5562-3521

氏名	所属機関等	派遣地	目的	期間
<b>日本文化紹介派遣(助成)事業</b>				
高橋 正則 他7名	(株)ドモレコード・ジャパン所属ミュージシャン	ペルー(マチュピチュ、リマ)	首都リマでペルー日本移民100周年記念祭のチャリティーコンサートおよび世界文化遺産の聖地マチュピチュで「21世紀世界平和祈念コンサート」を行う。	'99. 7. 2 - '99. 7.25
高橋 裕 他2名	東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校教諭	グアテマラ(グアテマラシティー)	日本・グアテマラ音楽祭(世界の平和を願って)	'99. 7.18 - '99. 8. 8
上野ギャレット 淳子	ライス大学シェパード音楽院	コロンビア(ボゴタ、トウンハ)、エクアドル(キト)、ベネズエラ(カラカス)	武満徹のピアノ音楽についてレクチャーおよびコンサートを行う。	'99. 7.27 - '99. 8.13
大倉 侍郎	現代美術家、京都教育大学講師	アイルランド(ダブリン、ティペラリー、コーク)	筆と墨を用いたドローイングに関するワークショップ、および自作品(彫刻)の展示。素材にゴミを利用することにより、現代社会におけるゴミ問題についても考える機会を持つ。	'99. 7.20 - '99. 8.19
澤 和彦 他2名	ヴァイオリニスト、東京芸術大学音楽学部助教授	ドイツ(ミュンヘン)、オーストリア(ウィーン)、英国(ロンドン)	SAWA Quartet 第4回欧州公演にて、邦人およびアジアの作曲家の作品を演奏する。	'99. 7. 2 - '99. 7.15
岡本 光平 他2名	書家、中央美術学園造形科講師	ドイツ(ライプツィヒ)	知的障害者を含むドイツ人観客に対し、書、墨の造形に関するレクチャー・ワークショップおよび声明を交えたデモンストレーションを行う。	'99. 7.15 - '99. 7.22
熊野 乃理子 他7名	ダンスカンパニー-Nomade-s 舞踊家	ギリシャ(ハランドリ、スパルタ、コロピ)	現代舞踊講演、デモンストレーション、ワークショップの実施	'99. 7.14 - '99. 7.24
木野 雅之	ジャパンアーツ所属ヴァイオリニスト	フィンランド(オウルンサロ)	ピアニスト・館野泉の音楽監督によるオウルンサロ音楽祭にてヴァイオリン演奏を行う。	'99. 7.29 - '99. 8. 9
花柳 衛彦	花比古会	フランス(パリ)	日欧の演劇関係者を対象に歌舞伎舞踊のワークショップ、デモンストレーションを実施する。	'99. 7.23 - '99. 8. 8
坂上 高子	二代目市川荒右衛門事務所 顔師	フランス(パリ)	歌舞伎化粧のデモンストレーション・ワークショップ	'99. 7.17 - '99. 7.26
渋谷 和生 他5名	津軽三味線全国協議会	キルギス(ビシュケク、チョルボンアタ)	津軽三味線全国協議会とキルギス共和国コムス(三弦楽器)協会との国際文化交流を行う。	'99. 7.16 - '99. 7.24
林 英樹 他2名	テラ・アーツ・ファクトリー	クロアチア(ピュウラ)	第4回国際青年演劇フェスティバルの特別企画として、世界から集まった俳優のグループにより、林英樹構成・演出による「デスデモナー」を上演する。	'99. 7.26 - '99. 8.25
菅原 朋子 他1名	ハーブ奏者	チェコ(プラハ)	箏篋(くご)の紹介と実演	'99. 7.17 - '99. 7.26
高田 淳生 他4名	(有)イエローズ取締役	マダガスカル(アンタナナリボ、アンチラブ、フィランツァ他)	福岡ユタカ・グループが、マダガスカル主要都市で、マダガスカルを代表する民族音楽家らと共同創作し公演を実施する。	'99. 7.30 - '99. 8.27
多田 葉子 他7名	(梅津和時の)マネジメント業務	英国(ロンドン)、タンザニア(ザンジバル)、ケニア(ナイロビ)、南アフリカ(プレトリア)	日本の伝統音楽、ジャズ、民族音楽他とのコラボレーションによる音楽を創り上げてきた、Dr.Umezu "KIKI" Bandの公演を実施する。	'99. 7. 8 - '99. 7.26
<b>フェローシップ(助成)事業</b>				
浅田 孝幸	大阪大学大学院経済学研究科教授	米国(シアトル)	日米の代表的な企業が、新たな経営プロセスをどのような視点で再構築し、またその過程でABC/ABMという管理会計システムがどのような意義を持ち、相互作用を経て経営プロセスの改革に作用するかを、共同研究により比較検討する。	'99. 7.20 - '00. 7.19
今泉 容子	筑波大学文芸・言語学系助教授	米国(ニューヘブン)	戦後から今日までの日米の映像文化に描かれる日米の家族像の違いを、「病気と看護」を切り口にして解明する。	'99. 7.10 - '99. 9. 9



## 人物の交流 派遣

人物交流部派遣課 03-5562-3521

氏名	所属機関等	派遣地	目的	期間
<b>フェローシップ(助成)事業</b>				
上村 直己	熊本大学文学部教授	ドイツ(ベルリン)	ドイツにおける日本語教育と日本研究の中心的役割を担ってきたベルリン東洋語学校日本語科を歴史的に正当に位置づけるため、プロセイン文化財団公文書館に多量に所蔵されている資料を収集する。	'99. 7.15 '99. 8.15
蒲池 美鶴	京都大学総合人間学部助教授	英国(ロンドン)	ルネサンス期の美術・演劇に多大の影響を及ぼし、それを解釈する上で不可欠な魔術・科学思想を、アナモルフォーズ(正面からではなく、斜めから見ることにより、初めて図柄が判別できる「だまし絵」との関わり)を通して、調査・研究する。	'99. 7.18 '00. 3.31
橋本 聡	北海道大学言語文化部助教授	チェコ(プラハ、ブルノ)	1997年のチェコ=ドイツ和解宣言に基づき、活発化している両国の文化交流事業の理念や運営の実態について調査を行う。また言語文化的視点から両国人の共生関係を共同研究し、歴史的次元での多文化共生の本質を提示する。	'99. 7.15 '00. 7.14
大久保 千鶴	外務省研修所語学講師	ポーランド(ワルシャワ)	ポーランドのロマン主義を代表する詩人ミツケヴィチがユダヤ系であるという説を一次資料で再検討し、自説を根拠にこれが有力説であることを主張していく。また、ユダヤ出自説の歴史的・文学的意義を近代ユダヤ思潮の展開等から明らかにする。	'99. 7.15 '00. 2.28



## 人物の交流 招へい

人物交流部受入課 03-5562-3522

### フェローシップ招へい事業

国名	氏名	現職(専門)	研究主題(受入機関)	滞り期間
<b>学者、研究者フェローシップ</b>				
シエラ・レオネ	Mr.KOROMA, Bashiru Mohamed	名古屋大学客員研究員 (農業環境学)	持続的発展のための農村資源管理における集落機能の活用 (名古屋大学農学部)	'99. 5. 6 '00. 5. 5
中国	Mr.SU, Jin gao 宿久高	吉林大学外国語学院院長、日本文学教授 (日本文学、比較文学)	中国新感覚派文学の比較研究 (奈良大学文学部)	'99. 7.10 '00. 5. 9
中国	Mr.XIN, Ping 忻平	華東師範大学大学院副院長 (歴史学・近現代史・経済)	1920～30年代上海における日本企業と居留民 (大阪外国語大学)	'99. 7. 1 '00. 4.30
中国	Ms.WANG, Wei jun 王偉軍	上海国際問題研究所日本室副室長 (日本経済)	戦後日本の銀行と企業の関係および中国改革の深化に対する示唆 (日本経済研究センター)	'99. 7.20 '00. 1.19
韓国	Ms.KIM, Young-Soon 金栄順	ハンナラ党副代弁人	韓日女性の政治・社会的地位に関する比較研究 (早稲田大学政治経済学部)	'99. 5. 6 '00. 5. 5
韓国	Mr.HONG, Yoo-Soo 洪裕洙	対外経済政策研究所前任研究委員 (技術経済、産業技術政策)	東北亜技術共同体と日本の役割 (埼玉大学政策科学研究所)	'99. 5. 6 '00. 5. 5
韓国	Mr.SUH, Yoon-Soo 徐胤洙	高麗大学校附設環境技術・政策研究所前任研究員 (環境管理)	韓・日住民の環境保全活動意識の比較研究 (滋賀県立大学)	'99. 6.10 '99.12. 9
インドネシア	Mr.BADIB, Abbas Achmad	国立スラバヤ教育大学言語・芸術学部日本語教育学科長 (言語学)	古代より現代に至るまでの日本人:その起源、言語とインドネシア人との関連 (名古屋大学文学部)	'99. 7.21 '99.12.20
インドネシア	Mr.SISWADI	インドネシア芸術大学伝統音楽学科学科長 (作曲・音楽教育)	音楽教育と創造の比較研究 (大阪芸術大学)	'99. 7.11 '99.10.10



# 人物の交流 招へい

人物交流部受入課 03-5562-3522

## フェローシップ招へい事業

国名	氏名	現 職(専門)	研究主題(受入機関)	滞日期間
<b>学者、研究者フェローシップ</b>				
マレーシア	Mr.ABDUL-AZIZ, Abdul-Rashid	マレーシア科学大学建築学部講師 (建築管理)	不法就労者の日本の建築業界への貢献について (東京外国語大学外国語学部)	'99. 7. 5 '99.10.25
パキスタン	Mr.MEMON. Abdul, Razzaque	ダワード・カレッジ校長 (都市計画)	ハイテク分野における日本経済発展への努力 - 持続可能な発展と環境保護 (明海大学経済学研究所)	'99. 5. 6 '00. 5. 5
ネパール	Mr.PANDAY, Ram Kumar	トリバン大学地理学部学部長 (地理学)	標高地理学および山岳観光におけるネパール山岳部と日本との比較研究 (大阪市立大学文学部)	'99. 5.16 '00. 2.15
インド	Mr.GASPER, Leonard A	マドラス大ロヨラカレッジ講師 (経済学)	インド情報技術に占める日本の多国籍企業の果たす役割 (熊本学園大学)	'99. 6.17 '99.10.16
バングラデシュ	Mr.SAMAD, Quazi Abdus	ジャハングルナゴール大学教授 (計量経済学)	計量経済学的分析:主要アジア諸国における日本車の需要 (横浜国立大学経営学部)	'99. 7. 1 '00. 6.30
ナイジェリア	Mr.FAJONYOMI, Sylvester Olubanji	ラゴス州立大学上級講師 (行政学)	アジア諸国の行政に与えた日本官僚制のインパクト (アジア経済研究所)	'99. 6. 2 '00. 1. 1
デンマーク	Ms.HAYASHI, Mariko 林眞理子	オーフス大学東アジア研究所助教授 (心理学、日本学)	空間把握とその言語表現 - 日本語を母語とする子供達の場合 (神戸大学)	'99. 6.23 '99. 8.22
ラトビア	Mr.MUZIS, Ivars	リーガ教育アカデミー学部長 (教育理論)	日本(京都市)とラトビアの小学校における教育手法の比較 (京都教育大学)	'99. 6.16 '99.12.15
フランス	Ms.SAUCIER, Marion	エコール・ノルマル・スベリユール日本語専任講師 (日本語、経済学)	福沢諭吉の経済思想と経済用語 (慶應義塾大学文学部)	'99. 5.16 '99. 9.15
フランス	Ms.SAKAI-MINK Cecile Hiroka	パリ第7大学助教授 (日本現代大学)	川端康成或いは両義性のエクリチュール (早稲田大学文学部)	'99. 5.28 '99. 7.27
フランス	Mr.HUMBERT, Marc Guislain	レンヌ第1大学教授 (企業経済学)	日本における技術革新の進み方 (東京大学経済学部)	'99. 5. 6 '99.10.31
ロシア	Ms.SERDJUK, Elena	モスクワ国立大学歴史学部美術史学科准教授 (極東美術史)	飛鳥 - 奈良時代の日本仏教美術における大陸の影響とアイデンティティ (学習院大学)	'99. 7. 1 '00. 4.30
ロシア	Mr.BOK, Zi Kou	サハリン国立総合大学付属東洋大学学長 (経済学)	日本経済の特殊性、旧樺太の市場経済 (北海道大学教育学部)	'99. 7. 1 '00. 6.30
ルーマニア	Ms. PASSIMA, Liliana	ルーマニア農民博物館学芸員 (民族衣裳)	着物の芸術 - ファッション科学と創造性 (ART BUSINESS TIME INC.)	'99. 5. 8 '99. 8. 3
ニュージーランド	Mr.SWALE, Alistair David	ワイカト大学人文学部専任講師 (比較政治学)	日本における開発主義の新たな展望 (京都大学)	'99. 6.28 '00. 2.27
カナダ	Mr.HEYD, Thomas	ヴィクトリア大学客員助教授 (哲学・環境)	日本文化の中の自然:パラドックスを越えて (甲南大学)	'99. 6.22 '99. 8.31
米国	Mr.ELISONAS, Jurgis	インディアナ大学教授 (日本中世・近世史)	仮名草子 (京都大学、立教大学)	'99. 7. 3 '00. 7. 2
米国	Mr.PHILLIPS, Quitman	ウィスコンシン大学マディソン校准教授	15世紀の日本の仏教画 (京都大学)	'99. 7.28 '00. 7.27



# 人物の交流 招へい

人物交流部受入課 03-5562-3522

## フェロースhip招へい事業

国名	氏名	現職(専門)	研究主題(受入機関)	滞日期間
<b>芸術家フェロースhip</b>				
モンゴル	Mr.BATCHULUUN, Tsend	国立馬頭琴交響楽団指揮者、芸術監督 (馬頭琴演奏)	モンゴル民族音楽と日本民族音楽の比較研究 (早稲田大学)	'99. 5.12 '99.11.11
米国	Mr.GILDEN, BRUCE	フリーランス (写真)	東京エクストリーム (東京都写真美術館)	'99. 7. 5 '99.10. 4
米国	Ms.HOUSTON, Velina Hasu	南カリフォルニア大学演劇学科準教授 (国際文化、日米関係)	無題の新しい演劇 - 女性プロジェクト (同志社大学文学部)	'99. 6.23 '99. 9. 2
ドイツ	Ms.KUBO-NUEBLING, Mayako 久保ニューブング摩耶子	ベルリン現代音楽研究協会作曲家 / 音楽学 (現代音楽)	日本の伝統音楽と文学がヨーロッパの音楽およびオペラにもたらす影響とその相互作用 (京都市立芸術大学音楽学部)	'99. 5. 7 '99. 9. 6
ルクセンブルグ	Mr.LAMBERT, Yvon Emile	フリーランス写真家 (写真)	日本における都市と田舎、自然との境の様子の撮影。それを通じ、欧州における国境、文化的相違の探求 (社)日本広告写真家協会	'99. 5.15 '99. 9. 8
ウズベキスタン	Mr.NARZULLAEV, Alisher Ibadullaevich	ウズベキスタン芸術アカデミー陶芸家 (陶芸)	日本の伝統陶芸 - 陶芸学校、技術と作品について (石川県九谷窯元工業協同組合)	'99. 5.12 '99.11. 7
タンザニア	Mr.HASHIM, Hashim Abdi	ザンジバル芸術の家教員 (美術工芸)	日本の現代美術工芸 (九州産業大学芸術学部)	'99. 7. 1 '99.12.30
韓国	Mr.KIM, Ki-Young 金基栄	作曲家	音楽研究ならびに岸田理生のワークショップ参加 (岸田理生)	'99. 6. 1 '99.12.31
<b>博士論文執筆者フェロースhip</b>				
中国	Mr.ZHAO, Cheng Guo 趙成国	北京大学歴史学部博士課程 (日本史)	現代日韓関係研究 - 日韓国交正常化を中心として (早稲田大学アジア太平洋研究センター)	'99. 6. 6 '00. 6. 5
ブラジル	Mr.UEHARA, Alexandre Hatsuo	サンパウロ大学国際関係研究センター 研究員 (国際政治経済)	冷戦後の日本の外交政策 (上智大学国際関係研究所)	'99. 7. 1 '00. 6.30
イスラエル	Mr.BEN-ARI, Eyal	エルサレム・ヘブライ大学社会人類学 部助教授 (社会・文化人類学)	多国籍軍による平和維持 - 日本の自衛隊の場合 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科)	'99. 7. 2 '99. 9. 1
トルコ	Mr.ERKIN, Huseyin Can	アンカラ大学言語歴史地理学部非常 勤講師 (日本中近世史)	日本の中近世における外国人の法的位置づけの研究 (東京大学大学院人文社会系研究科)	'99. 5.15 '00. 3.15
ケニア	Mr.ONDICHO, Tom Gesora	ナイロビ大学アフリカ研究所研究員 (社会人類学)	日本人の余暇と観光業の関わり (京都大学)	'99. 6.28 '00. 8.27
米国	Mr.CREIGH, Jason	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (日本近代史)	論争の理由:19世紀日本の村の政策 (大阪市立大学)	'99. 7. 2 '00. 7. 1
米国	Ms.CULLINANE, Joanne	シカゴ大学 (文化人類学)	家族の中での病:エイズ、実践主義と日本における 人類学の市民権 (お茶の水女子大学)	'99. 7. 1 '99. 8.31
<b>文化財専門家フェロースhip</b>				
インドネシア	Mr.INDRA.	教育文化省遺跡考古局中部ジャワ地 方事務所修復部長 (文化財保護・修復)	木造建築遺産の保存 (文化庁文化財保護部建造物課)	'99. 6.11 '99.12.10
グアテマラ	Ms.MIRALBES, Rosario	イシエル民族衣装博物館学芸部長 (マヤ織物研究)	織物・繊維の保護保存に関する科学的・技術的方法 の調査 (東京家政大学博物館)	'99. 6. 1 '99.10.30



## 人物の交流 招へい

人物交流部受入課 03-5562-3522

### フェローシップ招へい事業

国名	氏名	現 職(専門)	研究主題(受入機関)	滞日期間
<b>文化事業専門家フェローシップ</b>				
ネパール	Mr.GURUNG, Ganesh Man	ネパール国立民族誌博物館創設準備 委員会委員長、トリバン大学教授 (社会人類学)	国立民族誌博物館の創設に向けた博物館の管理お よび運営 (国立民族学博物館)	'99. 5.30 '99.11.29
<b>特別フェローシップ</b>				
ロシア	Ms.RODINA, Elena Vladimirovna	サンクト・ペテルブルグ国立建築技術 大学大学院生 (建築・都市計画)	「カオスの都市」の表象と自然法への適合 (早稲田大学理工学部)	'99. 5.16 '00. 5.15
カザフスタン	Mr.OSHURAHUNOV, Saparbek	ビシュケク市内務局捜査官 (犯罪法)	近代日本における犯罪法発達の状況と傾向の方向性 (立命館大学)	'99. 5. 6 '00. 4. 5

### グループ招へい事業

グループ名	構 成	訪日目的等
カナダ児童演劇祭・青少年 劇場主催者グループ	カナダ	カナダの児童演劇祭・青少年劇場主催者を日本に招 へいし、東京で開催される「児童演劇子どもリンク21 '99 国際児童青少年演劇アジア大会」にて、日本はじめア ジア各国の作品を鑑賞するとともに、関係者との意見交 換の場を提供し、カナダと日本の児童青少年演劇の交 流を促進し、両国の相互理解の増進に寄与する。 '99. 7.23 '99. 8. 5



## 日本語・日本研究

日本研究部日本語課 03-5562-3524

### 日本語教育専門家派遣事業(着任)

氏 名	派遣先機関	派遣先国	任 期
長期派遣			
石丸 玲子	リオ連邦大学	ブラジル	'99. 7.30 '01. 7.29
豊田美由紀	首都特別地域教育省	オーストラリア	'99. 7.15 '01. 7.14

### 海外日本語弁論大会助成

開催国	大会名	開催機関	開催予定日
パプアニューギニア	第2回UPNGオープン日本語スピーチコンテスト	パプアニューギニア大学	'99. 7. 1
韓国	第8回日本語弁論大会	韓日親善協会	'99. 7. 1
アルゼンチン	第7回日本語スピーチコンテスト	在亜日本語教育連合会	'99. 7. 4
モロッコ	第1回モハメド5世大学日本語スピーチコンテスト	モハメド5世大学	'99. 7.10
香港	第24回1999 日本語弁論大会	香港日本文化協会	'99. 7.10
シンガポール	第31回日本大使杯日本語スピーチコンテスト	シンガポール日本文化協会	'99. 7.11

### 日本語教育巡回セミナー

巡回講師	巡回地域	期 間
韓国巡回セミナー		
長谷川恒雄(慶応義塾大学教授) 横山紀子(国際交流基金日本語国際 センター専任講師)	ソウル、大田(テジョン)、釜山(プサン)	'99. 7.17 '99. 7.26
南米巡回セミナー		
清ルミ(常葉学園大学助教授) 浜田盛男(国際交流基金関西国際 センター専門員)	ブラジル(サン・パウロ、ポルトアレグレ)、アルゼンチン(ブエノスアイレス)、 ペルー(リマ)	'99. 7.17 '99. 8. 8



# 日本語・日本研究

日本研究部日本研究課 03-5562-3526

## 日本研究機関助成

国名	派遣先機関 / 助成対象機関	助成対象事業内容・主題	期間
<b>日本研究客員教授派遣経費助成</b>			
米国	イリノイ大学アーバナ・シャンペイン校	柴谷方良神戸大学文学部教授による講義実施(日本語学の手法:その展望の日・欧米比較)	'99. 7. 4 '99. 7.31
<b>日本研究客員教授直接派遣</b>			
ベトナム	ベトナム日本研究調整評議会	橋本和彦関東学院大学教授による講義実施(第二次世界大戦前後の日本人のライフスタイル、他)	'99. 7.15 '99. 8.14
<b>日本研究リサーチ・会議等助成</b>			
中国	遼寧大学(日本研究所)	21世紀を迎える中国東北と日本シンポジウム	'99. 7.25 '99. 7.30
中国	浙江大学(日本文化研究所)	日本文化研究・世紀にまたがる回顧と展望シンポジウムおよび日本文化祭	'99. 7.31 '99. 8. 5
米国	オハイオ州立大学人文学部	東アジア言語集中研究週間	'99. 7.29 '99. 8. 4

## 日本語国際センター研修事業課 048-834-1182

プログラム・内容	参加者	期間
<b>海外日本語教師短期研修(夏期)</b>		
日本語教授能力の向上を図るため、海外の日本語教師を約2カ月間招へいし、日本語、日本語教授法等の集中研修を行います。	・授業(日本語、日本語教授法、日本事情等) ・日本文化体験プログラム(日本文化紹介デモンストレーション、伝統芸能鑑賞、研修旅行等)	20カ国 / 45名 (中国、インドネシア、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、米国、ブラジル、ペネズエラ、ペルー、英国、ウクライナ、イラン、トルコ、エジプト、マダガスカル)
<b>大韓民国高等学校日本語教師研修</b>		
韓国政府が選抜した高等学校日本語教師を約2カ月間招へいし、日本語、日本語教授法等の集中研修を行います。	・授業(総合日本語、教授法演習、日本事情等) ・日本文化体験プログラム(教育機関訪問、日本文化紹介デモンストレーション、伝統芸能鑑賞、研修旅行等)	45名
<b>北京日本学研究中心日本語教師訪日研修</b>		
北京日本学研究中心の日本語研修コースで研修を受けている高等教育機関の現職日本語教師を招へいし、そのコースの一環として約1カ月間、日本の文化・社会への理解を深めることを目的に集中研修を行います。	講義、課外研修、教育機関訪問、日本文化紹介デモンストレーション、伝統芸能鑑賞、研修旅行等	23名(引率幹部4名含む)

## 日本語国際センター制作事業課 048-834-1183

### 日本語教材制作助成プログラム

日本語教材の出版経費の一部を援助します。

国名	教材名	出版社	使用言語	著者
ブラジル	新日本語	日伯文化連盟	日本語	Neida Kokubo
トルコ	トルコ語 - 日本語辞典	日本文化情報センター	トルコ語、日本語	Muharrem Demirci
オーストラリア	Japanese for Junior Secondary Students	Television Oceania	日本語	Tatsuo Ishizaka他

### 日本語教育フェロシップ・プログラム

海外の日本語教育専門家を日本に招へいし

教材や教授法・カリキュラムの開発を支援します。

国名	氏名	現職(専門)	研究主題	滞在期間	日本側協力者
中国	Mr.Qu, Wei (曲維)	遼寧師範大学 LIAONING NORMAL UNIVERSITY 教授、 学長補佐(対外交流等担当)	日本語教育法の研究と教材 開発	'99. 7.20 '00. 2.19	遠藤織枝(文教大学文 学部教授)

# 日本語・日本研究

関西語国際センター研修事業課 0724-90-2602

プログラム・内容	参加者	期 間
<b>大学院生日本語研修(夏期コース)</b>		
社会科学・人文科学の分野を専攻し、研究活動上、日本語の習得を必要とする海外の大学院生を対象とした日本語の集中研修(2カ月間)です。日常生活のための日本語から専門分野に関わる語彙や表現まで、研究活動に必要な日本語能力を習得することを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語研修</li> <li>・文化社会プログラム(大学・研究機関訪問、芸術鑑賞、ホームステイ、研修旅行など)</li> <li>・各種交流会など</li> </ul>	13カ国36名 (韓国、中国、インドネシア、フィリピン、インド、オーストラリア、ニュージーランド、米国、メキシコ、ドイツ、フランス、キルギス、ロシア)
<b>日本語成績優秀者研修(7月グループ)</b>		
海外の日本語教育機関等で日本語を学習して優秀な成績を修めながらも訪日の機会の少ない方々を招へいし、講義、文化紹介プログラム、ホームステイ、研修旅行等を通じて、日本語および日本文化・社会への理解を深めることを目的とします。年3回行われる短期研修プログラムの本年度最初のグループです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義(東京・大阪・京都・奈良・広島案内、ホームステイガイド、関西弁講座)</li> <li>・日本文化紹介</li> <li>・ホームステイ</li> <li>・研修旅行(広島、京都、奈良、東京)</li> <li>・フリーディスカッション</li> <li>・その他</li> </ul>	43カ国78名 (中国、モンゴル、インドネシア、フィリピン、ベトナム、マレーシア、インド、パキスタン、オーストラリア、ニュージーランド、フィジー、カナダ、米国、キューバ、グアテマラ、コスタリカ、ニカラグア、メキシコ、アルゼンチン、チリ、パラグアイ、ブラジル、ペルー、ボリビア、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシア、スイス、スウェーデン、ドイツ、フランス、ウズベキスタン、チェコ、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ルーマニア、ロシア、シリア、トルコ、ヨルダン、エジプト)

## 芸術交流 展示

芸術交流部展示課 03-5562-3529

### 海外展助成

展覧会名	主催者	開催地	会 場	開催期間	内 容
Freeze展 Freeze-images of Japanese by Sharon Lockhart and Miwa Yanagi	INSTITUTO MUNICIPAL DE ARTE E CULTURA-RIOARTE	ブラジル リオデジャネイロ	Espaco Cultural Sergio Porto	'99. 7. 1 - '99. 7.31	シャロン・ロックハート、柳美和による現代日本写真展

### 海外巡回展(主催)

展覧会名	開催国/都市名/会場	開催期間(予定)
現代日本版画展	チュニジア/チュニス/チュニス市「ギャラリーヤヒヤ」	'99. 6.18 - '99. 7. 4
現代日本版画展	チュニジア/ビゼルト/ビゼルト文化センター	'99. 7. 8 - '99. 7.25
現代日本の工芸展	カナダ/トロント/トロント日本文化センター	'99. 6.23 - '99. 7.22
現代日本の工芸展	カナダ/エドモントン/マクミュラン・ギャラリー	'99. 7.31 - '99. 8.22
写楽再見展	モンゴル/ウランバートル/モンゴル近現代絵画ギャラリー	'99. 7.20 - '99. 8. 2
日本現代建築1985-1996展(A)	中国/吉林省長春/長春中日友好会館	'99. 7. 9 - '99. 7.18
日本現代建築1985-1996展(B)	ルーマニア/トウルグ・ムレシュ/ルーマニア芸術家同盟ムレシュ支部展示ホール	'99. 7. 1 - '99. 7.15
写真展「日本の美を撮る」	ルクセンブルグ/ルクセンブルグ/ルクセンブルグ銀行キルシュベルグ支店	'99. 6.28 - '99. 7.23
こけし展(B)	キューバ/ハバナ/アジアの家	'99. 7. 8 - '99. 7.22
帛・独楽展(D)	ロシア/アルセーニエフ/アルセーニエフ歴史博物館	'99. 6.25 - '99. 7.23
日本人形展(D)	グアテマラ/グアテマラ・シティー/国家宮殿展示室	'99. 7.19 - '99. 8. 5





## 芸術交流 公演

芸術交流部公演課 03-5562-3530

### 海外公演助成

国名	事業名 / 開催都市	団員数 公演数	実施予定 期 間	団体名 / 電話	事業内容
オランダ	日蘭ダンスコラボレーション プロジェクト	11	'99. 7. 1	(株)アングリエイティ ブ 03-5458-0548	現代舞踏 オランダの振付家が来日し、日本のダンサーと共に作品を創作。作品完成後は、オランダ、日本(東京国際舞台芸術フェスティバル、10/25、26、六本木オリベホール)にて上演予定。
	アムステルダム	2	'99. 7.10		
スペイン	西崎緑舞踊団スペイン公演 薪舞“間”仏教説話三部作より	50	'99. 7. 5	西崎緑舞踊団 03-3401-7471	舞踊 創作野外舞踊。仏教説話をモチーフとした薪舞“間”のスペイン公演。今回は代表的な舞踊場面全十二景をガラ形式で展開する。
	ヴェラノス・デ・ラ・ヴィージャ、アルマ グロ演劇祭 マドリド、アルマグロ、ベタンソス他	6	'99. 7.26		
フランス	ニプロール公演 「林ん家に行こう」	11	'99. 7. 7	ニプロール 044-844-6018	現代舞踊 舞踊、映像、音楽、美術の分野にそれぞれコレオグラフィをおき、コラボレートすることによって新しいスタイルを追求している。アヴィニオン演劇祭OFF参加予定。
	アヴィニオン演劇祭OFF アヴィニオン	10	'99. 7.20		
フランス	オペラシアターこんにやく座 オペラ『セロ弾きのゴーシュ』	20	'99. 7.19	オペラシアターこんにやく座 03-3412-7202	オペラ 「親しみやすい日本のオペラ」を作り続けるこんにやく座の初の海外公演。演目は、国内で800回以上の公演実績のある宮沢賢治原作「セロ弾きのゴーシュ」。
	アヴィニオン演劇祭OFF アヴィニオン	10	'99. 8. 3		

### 国内公演助成

国名	事業名 / 開催都市	団員数 公演数	団体名 / 電話	事業内容
インドネシア インド	第15回 東京の夏 音楽祭'99 インドネシアの「チャクブン」チベットオペラ	37	(財)アリオン音楽財 団 03-3400-5052	民族芸能 「華・業・藝・演奏とは何か」を'99年のテーマとする東京の夏 音楽祭にて、パリの ロガムラン チャクブンと、チベット(インド在住)の民衆オペラを紹介する。
	東京 青山円形劇場(チャクブン)	'99. 7.21		
	東京 浅草公会堂(チベットオペラ)	'99. 7.22		
	東京 浅草公会堂(チベットオペラ)	3	'99. 7.27	



## 映像交流

メディア事業部視聴覚課 03-5562-3535

### 映画制作の助成

テーマが「日本」に関する優良な映画やテレビ番組の制作に対する助成を行っています。

作品名	内容	監督について
『千日～アジャリの永遠の歩行』 DIA FILMS PRODUCTIONS ダニエル・モロー監督	比叡山の3塔16谷を千日間かけて歩く千日回峰行の行者、阿闍梨(アジャリ)行照を中心に、日本の自然と精神風土を描きます。生きとし生けるものに心を寄せ、寺・神社を礼拝しながら、自然と一体となって歩行する阿闍梨を通して、自然と人との関係を問い直す作品となっています。1993年より制作準備を進め、対話を重ねる中で比叡山本部の深い理解を得るに至り、世界重要文化財である根本中堂の内部の撮影に世界で初めて成功するなど、貴重かつ美しい映像に彩られた作品です。	現在日本に在住。自らDIA FILMS PRODUCTIONS社を設立・経営し、各地の文化センター等で、自然などをテーマとした映画講座や写真会などを行うと共に、日本文化を題材にした記録映画や写真を撮影して、フランスに紹介しています。 上映 / 放映予定 モンテリオール国際映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭等に出品予定、東京・パリ等で上映会予定、ヨーロッパのテレビ局に放映交渉中

# 横浜トリエンナーレ2001

( Yokohama Triennale 2001 )

会期：2001年9月 - 12月のうち3カ月間を予定

会場：横浜市( みなとみらい121地区を中心とした都心臨海部 )

主催：国際交流基金、横浜市、NHK、横浜トリエンナーレ組織委員会

当基金、横浜市およびNHKが協同して準備を進めている「横浜トリエンナーレ2001」の基本概要が固まり、このほど国内外において一斉に発表されました。

トリエンナーレとは、3年ごとに継続的に開催される国際的な現代美術の祭典です。2001年の第1回展では、美術と科学や哲学などの諸分野との交流・対話を主眼に、4人のアーティスト・ディレクター(河本信治、建畠哲、中村信夫、南條史生の各氏)が世界各地より約100人の美術家を選考し、その多様な作品を横浜の街を舞台に展覧いたします。横浜港に臨むイベント・ホールや倉庫、公園、広場といった日頃美術作品とはあまり縁のない場所に作品を配することによって、人と美術と街とが祝祭的な雰囲気の中で交差するような場を創造し、従来の美術の枠組みを越えた人間の真の創造性について改めて検証することを試みます。

この大規模な国際展の会期中には、参加作家、市民、内外からの来訪者の間に広範な対話を喚起し、相互理解をより深めることを期して、シンポジウムやワークショップをはじめとする様々な関連事業の実施も計画されています。

お問い合わせ先：国際交流基金トリエンナーレ準備室

TEL. 03 - 5562 - 3531

FAX. 03 - 5562 - 3528



## 新しく賛助会にご入会いただいた方々

- ・佐々木 信子 様
- ・榎 恵 様
- ・伊原 照蓮 様

## 人事のお知らせ

平成11年5月から平成11年6月にかけて、以下のような異動がありました。

### 新任(前職)

日米親善交流部長	久保 和朗(日米親善交流部長兼企画開発課長事務取扱)
日米親善交流部企画開発課長	由良 聡(総務部調査役)
日本語国際センター研修事業課長 兼経理部調査役	福田 和弘(会計課課長補佐)
アジアセンター事業部長 兼国際交流フォーラム事務局長 兼知的交流課長事務取扱	野呂 昌彦(アジアセンター事業部長 兼国際交流フォーラム事務局長)
日本語国際センター総務課長	杉原 正道(日本語国際センター総務課長 兼日本語国際センター研修事業課長)
日本語課長	袋井 真理子(知的交流課長)
日本研究部企画開発課長	内田 裕(日本研究部企画開発課長兼日本語課長)

発行：国際交流基金総務部総務課 〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32アーク森ビル21F 03-5562-3511

編集協力：(財)国際文化交流推進協会(ACE JAPAN) 〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-28 赤坂1丁目森ビル4F